

卒業後の進路を考える大事な時期での講演です。 「技術士を知ろう！ 北海学園大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営担当している「技術士を知ろう！」の第3弾です。

今回は、平成20年から継続実施している北海学園大学の2～3年生を対象に実施しました。

北海学園大学での「技術士を知ろう！」講演は、4年前より1年生を対象にした「技術士を知ろう！」講演も継続開催しているため、今回受講してくれた学生さんとは2度目の再会となりました。

2. 実施概要

開催日時：2020.11.20(金)16:00～17:30

講義内容：技術資格の説明、技術士とは？

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

社会環境工学の仕事

対象者：北海学園大学 社会環境工学科

3年生：12名、2年生：15名

参加幹事：小澤、西村、千葉、木本(記)

(ミライ研4名)

〈実施方法：新型コロナウイルス感染症対策として〉

北海学園大学では、履修人数が教室定員の3分の1以下であれば対面授業可、座席も千鳥配置にした上で実施という新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。今回は、大学の先生方とも協議し、私たちのマスク着用、アクリル板を挟んでの講演のほか、後者に入る際の検温、アルコール消毒を実施した上での対面形式での開催としました。

3. 技術資格の説明、技術士とは？

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。



写真-1 対面授業での実施状況(学生の座席は千鳥配置となっており、教室定員の3分の1以下で実施)



写真-2 冒頭の概説を行う小澤技術士(代表)アクリル板越しのプレゼンに“やりにくさ”を感じつつ、それでもやはり「対面」は言葉が届きます

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(西村技術士)

学園大OBでもある西村技術士からは、「橋梁メーカーの仕事」の紹介。所属する日本高圧コンクリート(株)で橋梁の設計から施工まで携わっている自身の経験や、二次元解析ではわからない“ひび割れ”等を三次元FEM解析で検討するという技術的な取り組み等について、写真やイラストを用いてわかりやすく講演しました。冒頭の小澤技術士と同様、数多くの経験を経た西村技術士の講演は安定感

があり、OB ならではの空気感に学生たちは熱心に耳を傾けていました。

(2) 技術士の仕事(千葉技術士)

続いての千葉技術士からの仕事紹介では、土木系コンサル、河川計画分野の技術者の仕事の講演を行いました。治水・利水・環境を総合的にとらえ、河川の将来を計画する、なかなか難しいテーマではありましたが、手順を追っての丁寧な説明もあり、学生も興味深く聞き入っていたように思います。また、自身の資格取得と昇進時期の説明等では、資格を取る重要性をより強く認識していただけたようでした。



写真-3 仕事紹介をする西村技術士(幹事)
OB ならではの言葉に学生も釘付けでした



写真-4 仕事紹介をする千葉技術士(幹事)
久々の対面形式でプレゼンにも熱が入ります

5. 社会環境工学の仕事

講演最後は、筆者より土木の仕事全般を対象に、2人の講演で紹介しきれなかった様々な土木の仕事を写真で紹介。他校での説明同様、様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考

える機会になれば、と考えて用意したのですが、学生さんが自分たちの「ミライ」を考えるきっかけにしていただけましたようです。

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では「仕事のやりがいは?」「設計で失敗したことはありますか?」「今後の技術士や土木関係の仕事に需要はあるのですか?」といった今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

学生からの感想には「改めて技術士を取得したいと思いました。」「技術士を目指してみようと思う良い機会になりました。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

講演の主対象だった3年生は授業の関係で参加人数が多くありませんでしたが、2年生が多く参加していたのには、学生の意識の高さを垣間見た気がします。

アンケートでは、27人中12人が技術士のことを「名前だけは知っていた」等だったのに対し、27人中23人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また、「実際に社会基盤を作っている方々がどのような検討を重ねて設計や計画を行っているのか、どんな思いで仕事をしているのか、貴重な生の声を聞くことができました。とてもいい機会でした。」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でそれぞれ4.7、4.8と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。

本講演にあたり小幡先生をはじめ大学関係者の皆様には、大変お世話になりました。引き続き皆様方からのご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。